

オスグッド病 (Osgood-Schlatter disease)

・オスグッドとは？

成長期に運動を頑張っているとお皿の少し下の骨に痛みを感じる病気です。それを一般的にオスグッド病と呼んでいます。

・好発する年齢は？

小学生高学年～中学生までに多発します。幅広い年齢層に発生する理由は骨年齢の成長速度が関係します。生まれてからの暦年齢ではなく、骨の成長の具合を現す骨年齢です。早熟であればあるほど低い学年でオスグッドになりやすいと考えられます。

・どこが痛くなるの？ なぜ痛くなるの？

先述しましたが、お皿の少し下の骨です。専門的には脛骨粗面といいます。人間の骨は、歯と違い乳歯が抜けて、永久歯に生まれ変わるわけではありません。子どもの骨が徐々に大人の骨に置き換わっていくのです。その過程で必要なのが成長軟骨です。成長軟骨はまだ強くないため刺激に非常に弱いです。成長の過程で成長軟骨が脛骨粗面に出現し、運動するとそこを刺激するため痛みが出ます。



・治療はどうやって行うの？

痛いところを刺激している筋肉の緊張を取り除くことが最も効果的な治療です。

そのために特殊な電気治療を行ったりもします。

さらに運動中に痛いところを刺激しやすくなっている環境を取り除く必要もあります。

痛いところを刺激しないようするためには、股関節の柔軟性を獲得することも大切です。

このように股関節運動の再教育をすることで最短で痛みを取り除くことができます。

患部治療と関節運動の再教育を行うことで早期運動復帰を実現することができます。

どれくらいで治療が終わるの？

症状が軽度であれば2週間程度、重度であれば4～6週ほどかかります。

後遺症が残る場所ではないので、治療する先生と患者さんがしっかりと打ち合わせをして治療スタイルを決めています。試合が近いとか、練習が休めないなど相談にも真摯にのっております。

若田接骨院では骨年齢や成長のスピードを考慮して適切なアドバイスができる環境が整っております。



多くの学生が悩むオスグッド。

若田接骨院には早期に改善できるノウハウがあります。

お困りの方はぜひ若田接骨院にご来院くださいませ。